為正義。

「臨時軍法會議附記之證書」

「バタビア」臨時軍法會議被告人、且下、十ロヤン・升行所・治安中、能州清九、治安法二三五四月十五日、県石川縣士官学校等之ヲ、県石川縣士官学校等之ヲ、件ノ間ノ其ノ調書ノ照校シ、一九四六年官秋等七ノ號、戦犯事件ニ、規定ノ額ニ、上記被告ノ前記調書ニ基キ起訴セラルヘキ事ヲ、即チ上記被告ハ「スマラン」ニ於テ、勤ニ陸軍軍曹ニ於テ、一九四四年三月四日ヨリ、三月間或ハ其ノ頃、即チ其ノ時ヨリ、「スマラン」幹部候補生隊長又ハ戦能於テ、蘇國軍ニ属シ、戦争法規ノ違反ニ関シ、件ノ、同隊附軍人及同隊教育ヲ受ケタル、被告ノ部下ヲ戦犯行為ニ犯セルヲ看過セシメタルニ依リ、戦犯行為ニ犯シタル、即チ上記被告、前記軍人及ヒ市民ニ充分ナル監督ヲ加フルヲ怠リ、或ハ又彼等ノ行動ヲ確カムルノ怠リタル事ニ、次ニ述フル被告、部下ニ依リ行ハレタル戦犯行為ヲ防止スヘキ或ハ其ノ等行為ヲ及ヒ復讐ノ為ニ、謀殺ニ関スル乃至命令ノ與フルヲ怠リタルモノナリ、尚ホ其ノ各種結果ニ関シ記載及ヒ市民ハ一九四四年三月及ヒ四月ニ於テ、既ニ日本軍ニ鎮當局ニ依リ「マラン・オースト」「ケタンガン」「バルヤヘイラ」各収容所及ヒ「アンバラワ」并ニ第六収容所ニ拘留セラレアリシ約三十五名ヨリ成ル一團ノ婦人ハ「將校倶楽部」ヲ倶楽部ト「日九」ト「奴隷所」ト慰安所ニ宿泊セシメラ貢淫ヲ強制ヲ強制ヲ又不当取扱ヲ、其ノ又同様一九四四年三月四日ニ於テ、既ニ日本軍ニ鎮當局ニ依リ「サンティアン」収容所ニ拘留セラレアリシ一團ノ婦人ハ「マラン」ノ慰安所ニ宿泊セラレテ貢淫ヲ強制ヲ又ハ

右ノ上記被告ハ戦犯行為、行ハレタル或ハ行ハルヘキ知リ、或ハ當然知リ得ヘキ事実ニ関シ、戦時軍法会議ニ於テ審判ヲ受ケサルヘカラサルモノナルヲ以テ上記被告ヲ戦犯裁判令第四條ニ依リ、茲ニ起訴ス。

昭和　年　月　日　　陸軍法務官　　印